

応急手当の方法

救急医療週間にゆせて

病人やけが人が発生した時には、まず状態を冷静に確認して、直ちに自分にできることをしましょう。

鼻血の止め方

小鼻の部分を、片手でしっかり押さえる

○頭を後ろにそらせず、前に向いたままの姿勢で、やや上のほうに向かって押さえると効果的です。

○首の後ろをたたくのは危険ですのでやめましょう。

○大人が頻繁に鼻血を出すときは、医師の診察を受けましょう。



やけどの手当て

○熱湯が指先にかかってひりひりしている程度の軽いやけどは、水道の流水で15分くらい冷やす。

○水ぶくれができてかなり痛いやけどの場合、冷やした後医師に相談しましょう。



脱臼・ねんざの手当て

*脱臼とは

- ・関節が外れた状態
- ・外見からわかることが多い
- ・激痛を伴う
- ・肩・ひじ・指に起こりやすい

*ねんざとは

- ・関節を強くひねり、周囲の組織を傷つけた
- ・脱臼しかかっていることもある
- ・かなり痛む

脱臼・ねんざの手当ては同じで、その関節が動かないように固定・冷やし、早めに整形外科を受診しましょう。

骨折の手当て

○強く衝撃を受け、痛くて動かせない。「ボキッ」という音が聞こえた。このような場合、骨折を疑って手当てをしましょう。

場合、骨折を疑って手当てをしましょう。

○骨折した場所の上と下の関節をカバーできる長さの副木を当てて固定し、整形外科を受診しましょう。

(副木として、段ボール・傘・雑誌など、長さが合って硬いもので代用できる)



一口メモ

*結核予防について

わが国では、今だ1年間に3万人近い方が結核にかかっています。結核に対する免疫は、生まれて来る時に母親からもらうことはできません。予防方法としてBCGワクチン接種を受けることが重要ですから、生後6カ月までに接種しましょう。

接種の方法は、医療機関での個別接種と町の4カ月児健診時の集団接種があります。

問い合わせ

馬頭健康管理センター
0287-92-1188

小川南小学校から



小川南小学校は、創立46年、児童数74名で旧小川町の南の高台にあります。「温もりと笑顔があふれ、生き生きと学ぶ子どもたちのための学校」を経営理念に、自然との触れ合い

に「親子仮装踊り」や「安全マップづくり」など活発な事業を展開しています。

本校の特色ある教育活動として、「いわむらかずお美術館とのジョイント教育」を行っています。美術館周辺の四季折々の自然に触れ、子どもたちの好奇心や興味関心を刺激し自由に自然と対話しながら、感動や発見の喜び・想像の世界の楽しさ、創造することへの意欲などを身に付けます。

5月には全校で美術館に行き、いわむらかずお氏から絵本の読み聞かせなどをしていただいた後、絵本の丘の雑木林や池を探検しました。7月には、4・5・6年生が2回目の絵本の丘のフィールドを探検し、雑木林や池の中の生き物たちと対話し、その感動をスケッチと文に表しました。昆虫の足の先の形に驚き、それを大きくスケッチした子ども

いました。10月、11月にも絵本の丘活動を行います。

自然との対話をもとに育てた感性をいわむら氏の指導を受けながら、2月には、一人ひとりが世界にたった1冊の手作り絵本に表現します。

広報文芸

俳句

香水を少なめにして身仕度す
夏暁の浅き夢路や亡夫を追ふ
青柚落つ余生数ふるほどとなり
送り火に浮かびし母の顔やつる
道端の山百合に札立てしかな
轟ける太鼓の余韻夏祭

久那瀬 堀江 直子
小川 桧山 華
小砂 松岡 路石
盛泉 大金 游水
小砂 藤田 マス
松野 鶴川 良子

短歌

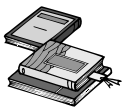
戦没者慰霊式には入れられぬ無辜の被害者めぐりにあまた
これといふ不自由とてなき世なれども平和への問ひに答へ語りぬ
迷ひ多き戦後なりしか軍服にて教鞭取りし復員教師も

馬頭 藤田 文代
盛泉 岡 イチエ
馬頭 松原 幸雄
律儀とも小心者とも札の向き揃え直して財布に仕舞う
三輪 石澤千代子
デイサービスのベットのの上にまどろべば森を吹きくる風窓にやさしく
浄法寺 伊藤 ヨシ
父と子が花火するらし遠つ声夜風に乗りて折り折り聞こゆ
恩田 上杉 里子

川柳

鼻歌にストレスも飛ぶ澄んだ空
ひぐらしの時雨れる音と風呂に入る
似なくてもいい不器用は親譲り
やっと着く友は両手を広げ待ち
故郷へ向えば過去が落ちてくる
野心まだあつて咲かせる四季の花

小砂 笹沼 季子
大山田上郷 大森 愛子
大内 郡司 正幸
大山田上郷 佐藤 有紀
薬利 大崎 克明
谷田 岡崎 甫子



新着図書

那珂川町 図書館



『夜明けの街で』

東野圭吾／著（角川書店）
不倫するやつなんて馬鹿だと思っていた。しかし、僕は超えてはいけな境界線を越えてしまふ。しかも、彼女は、15年前に起きた殺人事件の容疑者だった。事件はまもなく時効を迎えようとしていた。幸福な家庭で起きた殺人事件。著者渾身の最新長編小説をお楽しみください。

『吉原手引草』

松井今朝子／著（幻冬社）
なぜ、吉原一を誇った花魁葛城は、忽然と姿を消したのか？追手、幫間、楼主、お大尽。吉原に生きる魍魎魍魎の口から語られる、廓の表と裏。やがて隠されていた真実が、葛城の決意と悲しみが、徐々に明らかになっていく……。
本書は、失踪事件の謎を追いながら、嘘と誠が渦巻く吉原を見事に紡ぎ上げた、第137回直木賞受賞作品です。



『両親をしつけよう！』

シヨノン・ピート／作・岡本浜江／訳（文研しゅにべーる）
どうやら、へんなところに引っ越してきたらしい。きょうは、新しい学校の第1日目。父親の転職で「がり勉村」に転校してきたルーイ。自分の目標のために、両親や学校に立ち向かっていきます。ルーイが日記に告白する文章は、ユーモアいっぱい読者をなごませてくれる作品です。



- ◇ 『幼児化する日本社会』 神原英資／著（東洋経済新報社）
- ◇ 『悪あがきのすすめ』 辛淑玉／著（岩波書店）
- ◇ 『大人のための学問のススメ』 工藤庸子・岩永雅也／著（講談社）
- ◇ 『かごとかご雑貨』 小林和雄／編（日本ヴォーグ社）
- ◇ 『読む人間』 大江健三郎／著（集英社）
- ◇ 『フリーという生き方』 岸川真／著（岩波書店）
- ◇ 『飛んでった家』 クロード・ロワ／作・石津ちひろ／訳（長崎出版）
- ◇ 『やまんばあさんのむかしむかし』 富安陽子／作（理論者）
- ◇ 『スカイブレイカー』 ケネス・オッペル／著原田勝／訳（小学館）